

# そらこめ通信

No.24 2012.07発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。  
 今年の大雪で雪解けがなかなか進まず、春作業の遅れが気になっていましたが、田植えが6月2日で無事終わり、あとは日々の圃場管理になりました。田植えの後は、ソバの種まきや、ダリアなどの花卉の栽培に向けた準備、畔の草刈などの作業が待っています。こうして改めて考えると、本当にたくさんの作業が休む間もなく続くものだと感心してしまいます。手をかければかけるほど後から作業が湧いてくる・・・そんな感じです。たぶん農業に対する熱い想いがあればあるほど、あれもやりたい、これもやらなければ・・・という事なのかも知れません。  
 それらの作業に加えて、今年も新たな試みを行いました。昨年の暮れからひと冬、粳の状態に保存していた「ななつぼし」の試験販売です。作業が一段落した6月12日に粳摺りを行い、同日にJAさんで等級検査を実施、6月19日から「今摺り米ななつぼし」として販売を開始しました。一般的に、粳で保存された米の風味は「新米」とさほど変わらないと言われています。そのあたりを実際に自分たちの舌で検証するのが今回の試みの眼目というわけです。  
 試験的な試みということで、販売できる数量が少ないことと併せて、一人でも多くの方に味わって頂きたい想いがあり、従来の販売と同じロットで出せないのがとても心苦しいのですが、興味がある方はこの機会にぜひ「今摺り米ななつぼし」をご賞味頂き、ついでに批評など頂ければありがたく思います。



JA北いぶきさんによる今摺り米の等級検査(6月12日)



40俵すべて1等米でした(6月12日)

今年の大雪で枝折れや倒木した本社の前庭の木(6月15日)



田植え作業最後の追い込み(5月28日)

青空に映える木造の納屋(5月28日)



折れた枝などを片付ける木村社長と山崎君(6月15日)

同日、本社の草刈も実施(6月15日)



「ゆきがすみ」の田植え(5月31日)

「ゆきさやか」の田植え(6月1日)

花卉の栽培の為ハウスを整備(6月12日)



6月26日現在の圃場の風景

新品種「ゆきさやか」(左)と「ゆきがすみ」(右)(6月26日)

6月29日現在、好天に恵まれて稲はすこぶる順調に成長しています。願わくば、このままの状態であ来秋を迎えたいところですが、そうはいかないのが世の常。収穫までの数か月間、稲たちと会話しながら一心に努めたいと思います。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 ブログ「生産日誌」更新中です



粳の状態に保存してあった今摺り米「ななつぼし」の粳摺り風景(6月12日)